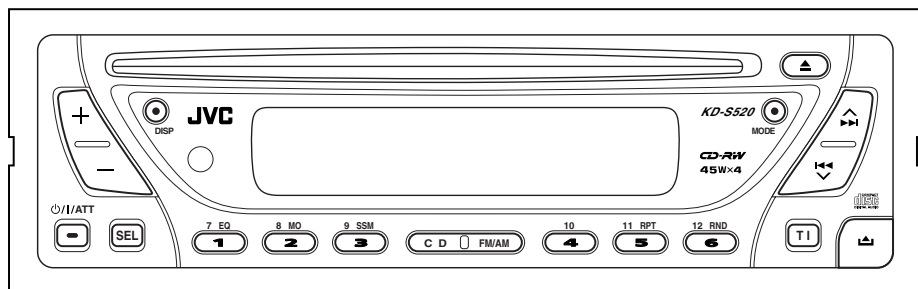


## CDレシーバー

# 型名 **KD-S520** (リモコン対応モデル) **KD-S530**



### 〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**21**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください、本体に取り付けてください。

— お買い上げありがとうございます —

### ⚠️ 使用前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意 .....	3~5	●音量・音質の調節 .....	22~23
●使用上のご注意 .....	6~7	・EQボタンで音質を選ぶ .....	23
●各部の名前 .....	8~9	・EQのメモリー内容を変える .....	23
●リモコン(RM-RK41J:別売り) の使いかた(KD-S520のみ) ..	10~11	●故障かな?と思う前に .....	24~25
●基本操作 .....	12	・こんな表示のときは .....	25
●時計を合わせる .....	13	●保証とアフターサービス .....	26
●ラジオを聞く .....	14~16	●主な仕様 .....	27
・放送局を選ぶ .....	14	●お手入れ .....	裏表紙
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる ..	14	・本体の清掃 .....	裏表紙
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる ..	15	・CDのお手入れ .....	裏表紙
・放送局を呼び出す(プリセット選局) ..	15		
・道路交通情報を聞く .....	16		
・FM放送が雑音で聞きにくいときは ..	16		
・放送受信中の表示内容を変える .....	16		
●音楽用CDを聞く .....	17~19		
・CD-R/CD-RWディスクについて .....	17		
・ディスク挿入後の表示について .....	18		
・CD演奏中の表示内容を変える .....	18		
・曲の頭出し/早送り・早戻し .....	18		
・ダイレクト演奏 .....	18		
・いろいろな再生モードを使用する .....	19		
・CDを取り出す .....	19		
・CDの盗難防止 .....	19		
●SELボタンを使って設定を変える ..	20		
●コントロールパネルの着脱 .....	21		
・コントロールパネルを外す .....	21		
・コントロールパネルを取り付ける .....	21		

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください—

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

### ●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起これば、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

**本機の通風孔や放熱板をふさがない。**



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

**指定の電池以外は使用しない。**



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

**電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。**



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**ディスク挿入口に異物を入れない。**



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

**リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。**



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に手や指を入れない。**



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

**本機を車載用以外には使用しない。**



- ・感電やけがの原因となることがあります。

**電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。**



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くとときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

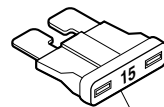
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

ビーターエール  
バランスド トランスフォーマーレス  
\*BTL：Balanced Transformerlessの略  
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

## CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

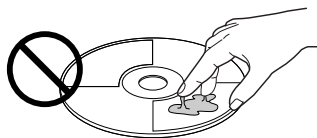
- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは** 専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

- **CD-R/CD-RWの取扱いについて** CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

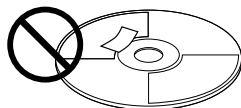
- **次のようなディスクは使用しないでください。**

本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。

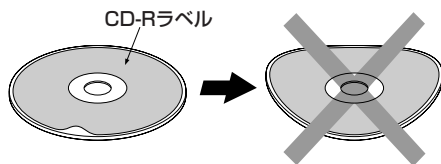
- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみ出したり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの (特にめくれているもの)



- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

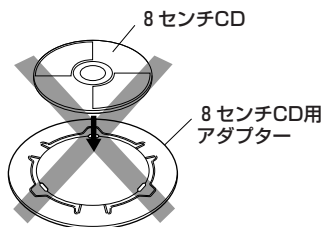


CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- ・ ラベル面に直接印刷できる  
インクジェットプリンター対応CD-R  
(印刷したもの)

※ CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上の注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

# 各部の名前

— ( )内のページに説明があります。—

**+、- (音量) ボタン (→12、20、22、23)**  
音量調節や各種の設定  
ができます。

**▲ (CD取出し) ボタン (→17、19)**  
CDの取り出しができます。

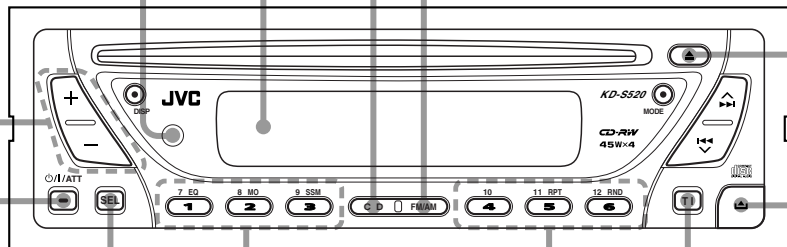
**リモコン受光部**  
(KD-S520のみ)  
別売りのリモコン  
(RM-RK41J)の信号  
をここで受信します。  
(→10)

**CD ボタン\* (→12、19)**  
ソース(音源)を「CD」  
にすることができます。

**表示窓  
(ディスプレイ)**

**FM/AMボタン\* (→12、14)**

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり  
FMまたはAMの聞きたいバンドを  
選ぶことができます。



**数字ボタン**

- ・「CD」のとき：  
1～12が機能します。(→18)
- ・「ラジオ」のとき：  
1～6が機能します。(→15)

トラフィックインフォメーション\*  
**TIボタン\* (→16)**  
道路交通情報を聞く  
とき使います。

セレクト  
**SELボタン (→13、20、22、23)**  
音量・音質調節のモードが選べます。  
2秒以上押しと、時計合わせなどのSELボタンを使って  
設定を変えるモードになります。

**⏻/⏻ (電源)/ATTボタン  
(→12)**

電源の「入」↔「切」が  
できます。

**▲ (コントロールパネル取り外し) ボタン  
(→21)**

\*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。



## ◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

「CD」のとき：

曲の頭出しや早送り、早戻しができます。(→18)

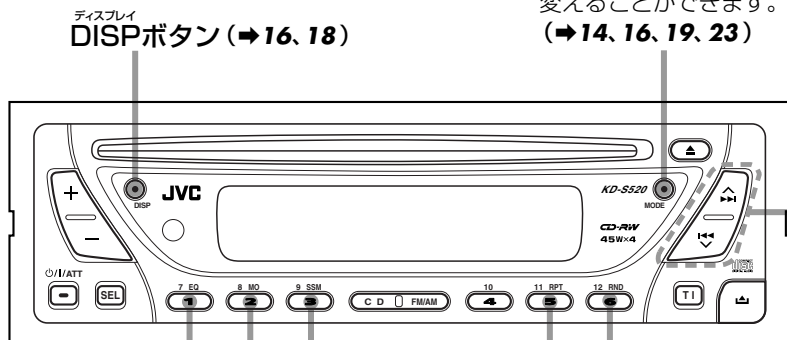
「ラジオ」のとき：

放送局を選局するとき使います。(オート選局/マニュアル選局) (→14)

モード  
MODEボタン

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。

(→14、16、19、23)



## 数字ボタン (MODEボタンを押したあとの働き)

「MODE」表示が点灯中に操作します。

「CD」のとき：(→19)

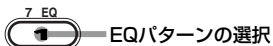


11 RPT      12 RND  
 リピート      ランダム  
 演奏          演奏

「ラジオ」のとき：(→14、16)



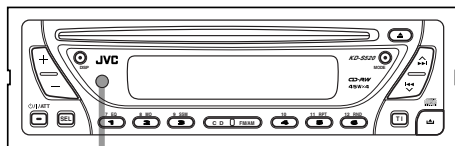
ソース (音源) に関係なく：(→23)



# リモコン (RM-RK41J:別売り) の使いかた (KD-S520のみ)

## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 別売りのリモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。



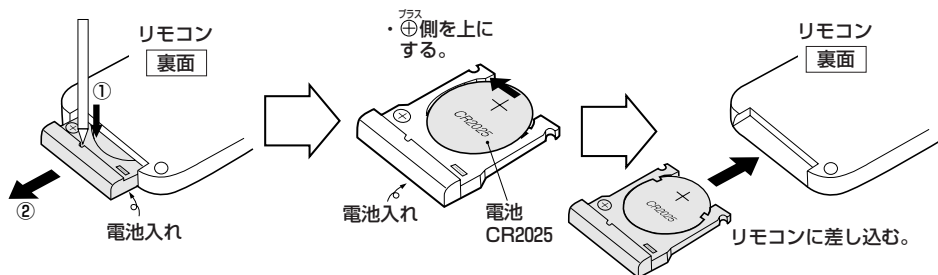
リモコン受光部  
(KD-S520のみ)

## ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

## 各部の名前

## 電源/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「入」↔「切」ができます。「ポン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

## DISC+/BANDボタン

・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。  
プログラム  
(PROGの機能はありません)

## DISC-/PRESETボタン

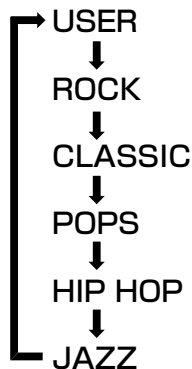
・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。プリセット選局になります。

## VOLUME+、-(音量)ボタン

音量の調節ができます。  
・+：音量が上がります。  
・-：音量が下がります。

## SOUNDボタン

EQパターンがダイレクトに選べます。



## SOURCEボタン

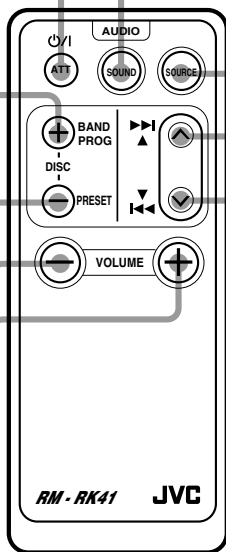
ソース(音源)を選ぶとき使います。

押すごとに  
ラジオ ←→ CD  
(FMまたはAM)

と変わります。ただし本体にCDが入っていないときはそのソース(音源)は選べません。

## ▶▶|/△、|◀◀/▽ ボタン

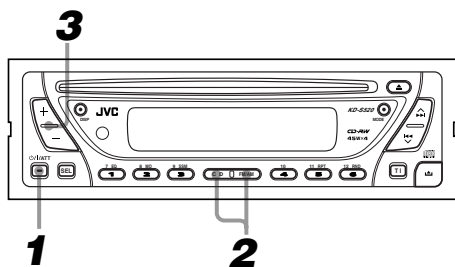
- ・「ラジオ」のとき：オート選局(SEEK)ができます。
- ・「CD」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。  
(▲と▽の機能はありません)



# 基本操作

## 準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



## 1 ①/I/ATT を押して電源を入れる



- 「HELLOのあとJVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

## 2 ソース(音源)を選ぶ

**FM/AM** : 「ラジオ」… 押すごとにバンドが選べます。

**CD** : 「CD」\*

\* 本機にCDが入っているときのみ

- これらのボタンは、ダイレクトソース切換機能のほかに電源を「入」にすることもできます。

## 3 音量を調節する

- 音量が上がる
  - 音量が下がる
- 調節範囲  
VOL 00 ~ VOL 50  
(初期設定 VOL 15)

- 音量を一時的に下げる  
①/I(電源)/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ●電源を「切」にする



①/I(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

- 1秒以上押す。

## ●車のエンジンキーが「OFF」のときでも次のボタンは、操作できます。

- ▲(CD取出し)ボタン…CDの出し入れ
- DISPボタン…5秒間時計表示

ただし、これらのボタンを押して電源を入れることはできません。

## 〈お知らせ〉

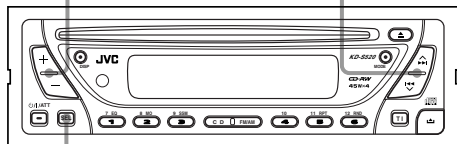
- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切りかわりません。
- 音量・音質の調節は22、23ページをご覧ください。

# 時計を合わせる

## 時計を合わせる

3-1・3-3

2・3-2



1・4

**1** SEL を 2 秒以上押す



- ・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・ 2 秒以上押す。

15秒以内に

**2** (または) を数回  
クロック アワー  
 押して「CLOCK H」を選ぶ



→ CLOCK H

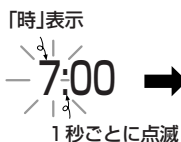
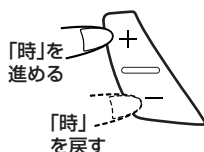
逆に変えます。

15秒以内に

**3** と で現在時刻に  
合わせる

例：7時30分に合わせる  
 (12時間表示方式です)

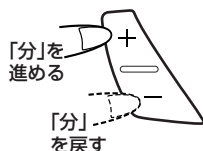
**3-1** 「時」を合わせる



**3-2** 「CLOCK M」  
を選び...



**3-3** 「分」を合わせる



15秒以内に

**4** SEL を押す



- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。
- SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

## 〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは20ページをご覧ください。

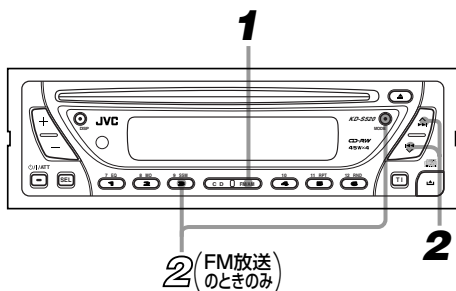
# ラジオを聞く

## 1 FM/AM を押してバンドを選ぶ



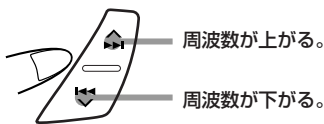
・押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1  
          ↑          ↓  
          AM2 ←

と選べます。



## 放送局を選ぶ

## 2 選局ボタン (または) を押して選局する



- ・受信した周波数が表示窓に表示されます。
- オート選局：「ポン」と押して離す。  
(シーク) 表示窓に が回転して表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
  - ・FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

## 〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作を止めてから5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

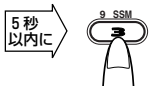
## 放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

## 2 MODE を押したあと5秒以内に SSM を1秒以上押す (FM放送のときのみ)



・「MODE」が点滅表示されます。



・1秒以上押す。



・終わるまで点滅表示されます。

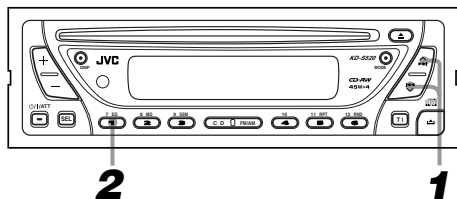
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの ~ にメモリーしていきます。
- ↓
- メモリーし終わると数字ボタン に記憶された放送局が表示されます。
- FM 1 (またはFM 2) ごとに最大6局ずつメモリーされます。

## 〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにFM 1 または FM 2 にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が動きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます(⇒15ページ参照)。

## 放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。

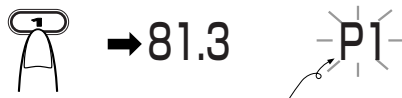


例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

### 1 選局ボタン / (または ) でFM81.3MHzを選局する

14ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

### 2 数字ボタンの **1** を2秒以上押す



・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

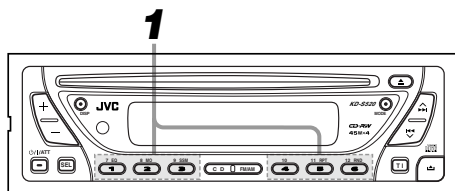
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、この手順以外ではメモリーできません。

## <お知らせ>

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後に行ってください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。押す時間が短いとメモリーされません。

## 放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



### 1 数字ボタン(1~6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



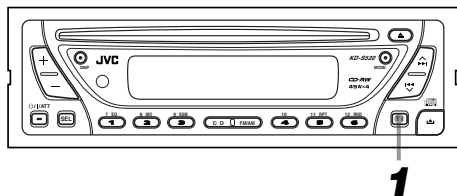
- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。  
(数字ボタンは2秒以上押し続けないでください)

## ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時刻表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

# ラジオを聞く (つづき)

## 道路交通情報を聞く







**1** **T1** を押す



**T1** → 1620 **T1**

高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところで**T1**\* ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

### ● AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域するとき

AM1620kHz受信中に  (または ) を押すと、AM1629kHzが受信できます。もう一度  (または ) を押すと、AM1620kHzの受信に戻ります。

- このモードのときはボリュームが独立しておりますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

\* **T1**とは…

トラフィック インフォメーション  
Traffic Information(交通情報)の略です。

## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「モノラル受信モード」に切換えます。



・「MODE」表示が点滅します。

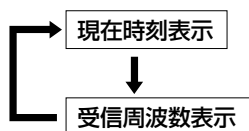
**MODE** → **MONO**

表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

## 放送受信中の表示内容を変える

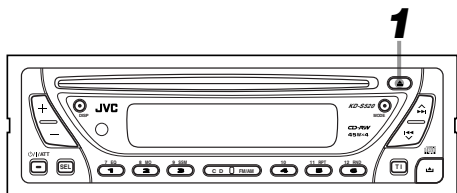


DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



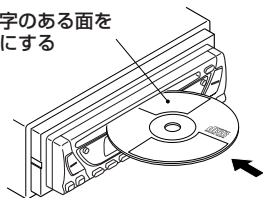


# 音楽用CDを聞く



## 1 CDを入れる→ソース(音源)が「CD」になり演奏がスタート


文字のある面を上にする



・途中まで入れると、CDが自動で中に引き込まれます。

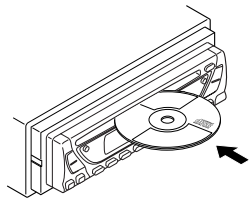
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

を押してCDを取り出すが、FM/AMボタンを押してソース(音源)を切り換えます。

## ● 8センチCDの入れかた


8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



## 〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることを確かめください。
- 「PLAY」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
-  (CD取出し) ボタンを押すとCDが出てきます。このときCDを取り出さずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

## CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

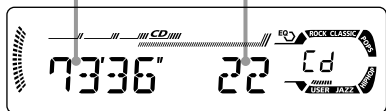
- 音楽用CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いいためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- MP3/WMAフォーマットには対応しておりません。

# 音楽用 CD を聞く (つづき)

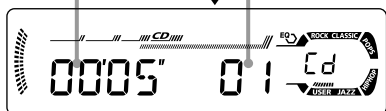
## ディスク挿入後の表示について

- CDを挿入すると、「PLAY --」が表示されます。

① 総演奏時間      ② 総曲数



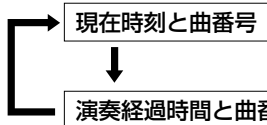
③ 演奏経過時間 → 現在時刻 ↓ ④ 曲番号



## CD演奏中の表示内容を変える



- DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



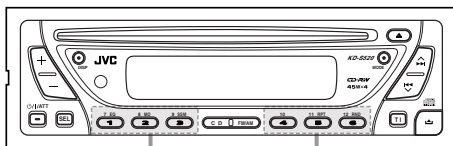
## 曲の頭出し／早送り・早戻し



曲の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押しごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。さらに押しごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

## ダイレクト演奏

聞きたい曲がダイレクトに選べます。



1

## 1 数字ボタン(1~6)を押す



- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ボン」と押します。

例: 3曲目を選ぶ

3 SSM を「ボン」と押します。

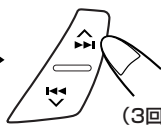
- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12曲目を選ぶ

12 RND を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは▶▶ボタンを併用します。

例: 15曲目を選ぶ

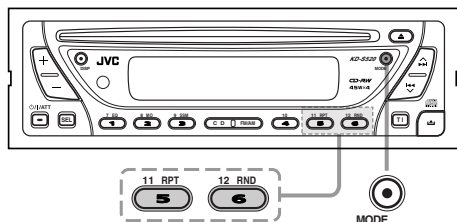


(3回押す)

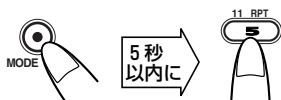
- ・1秒以上押す。

- ・12+▶▶▶ボタンを押した回数の曲が演奏されます。

## いろいろな再生モードを使用する



### ● リピート演奏



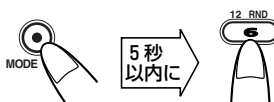
・「MODE」表示が点滅します。

11 RPT を押すごとに、リピート演奏のモードが切り換わります。

**TRK RPT** : 現在の(または指定した)曲をくり返し演奏  
表示窓に「RPT」が表示されます。


**RPT OFF** : リピート演奏を解除

### ● ランダム演奏



・「MODE」表示が点滅します。

12 RND を押すごとに、ランダム演奏のモードが切り換わります。

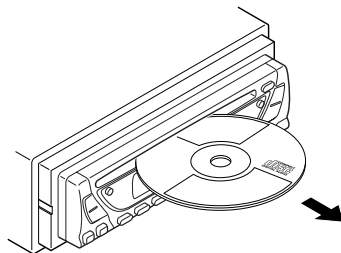
**DISC RND** : CD内の全曲をランダムに演奏  
表示窓に「RND」とが表示されます。

**RND OFF** : ランダム演奏を解除

## CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CDが出てきます。ソース(音源)は「ラジオ」に切替わります。



( CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます )

## ＜お知らせ＞

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDが出てくると自動で電源が切れます。

## CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができません。




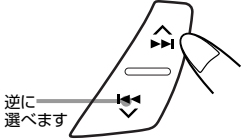
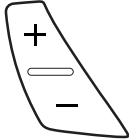
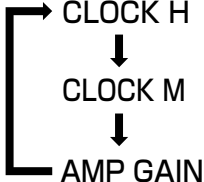
- **NO EJECT** が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT」が表示されCDが出てきます。

## ＜お知らせ＞

- リセットの操作をすると盗難防止機能は解除されます。

# SEL ボタンを使って設定を変える

## ●SELボタンのモード一覧

<b>1</b> SELボタンを 2秒以上押す 	<b>2</b> ▶▶(または◀◀)ボ タンでモードを選ぶ  逆 に 選 べ ま す	<b>3</b> +、- (音量) ボタンで設定する 	参 照 ペ ー ジ	
モード	初期設定値	設定		
	1 : 00  HIGH PWR	1 → 12 → 11 → …	1 → 2 → 3 → …	<b>13</b>
00 → 59 → 58 → …	00 → 01 → 02 → …	LOW PWR	HIGH PWR	

アンブ      ゲイン  
**AMP GAIN**

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続したスピーカーの最大入力ワット数に合わせて切替えます。

- <sup>ハイ</sup> HIGH PWR <sup>パワー</sup> : スピーカーの最大入力  
45 W を超えるとき  
(VOL 00 ~ VOL 50)
- <sup>ロー</sup> LOW PWR : スピーカーの最大入力  
45 W 以下のとき  
(VOL 00 ~ VOL 30)

## 〈お知らせ〉

- ◀◀ ボタンを押すと SEL ボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SEL ボタンを押して終了します。  
SEL ボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

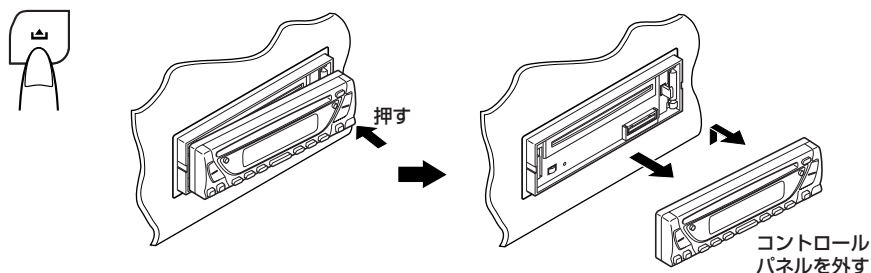
# コントロールパネルの着脱

## コントロールパネルを外す

**1**  を1秒以上押して電源を「切」にする

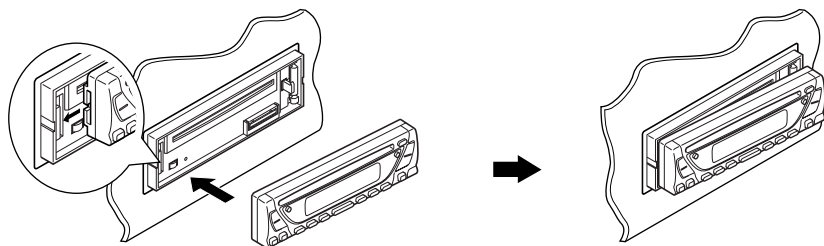


**2**  を押す

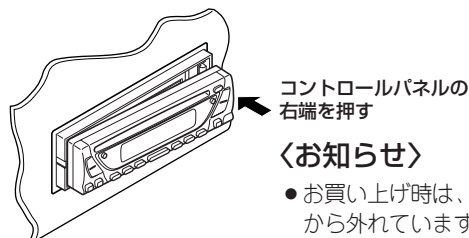


## コントロールパネルを取り付ける

**1** コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる

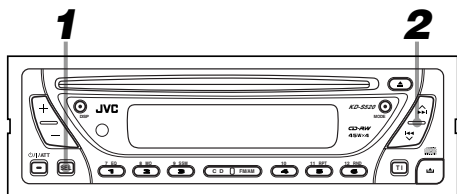


**2** コントロールパネルの右端を「カチッ」と音がするまで押す



- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

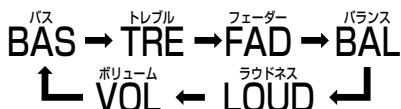
# 音量・音質の調節



## 1 SEL を押して調節したい項目を選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節 (VOL) のみのときは、+、- (音量) ボタンを直接押して調節します。

5秒以内に

## 2 +/- を押して音量・音質を調節する

<b>BAS</b> (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
<b>TRE</b> (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
<b>FAD</b> (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
<b>BAL</b> (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
<b>LOUD</b> (ラウドネス)	ラウドネス OFF	ラウドネス ON
<b>VOL</b> (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

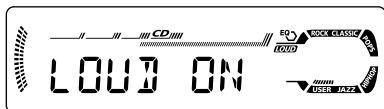
## ● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BAS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06 ~ フロント F06
BAL(バランス)	00(センター)	レフト L06 ~ ライト R06
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
VOL(音量)	15	00~50 (30*)

\* 「AMP GAIN」を「LOW PWR」に設定すると、調節範囲が 00 ~ 30 に変わりません (→20ページ参照)。

## 〈お知らせ〉

- ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓に **LOUD** が表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。



- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが一時的に表示窓に表示されます。

## EQボタンで音質を選ぶ



・「MODE」表示が  
点滅します。

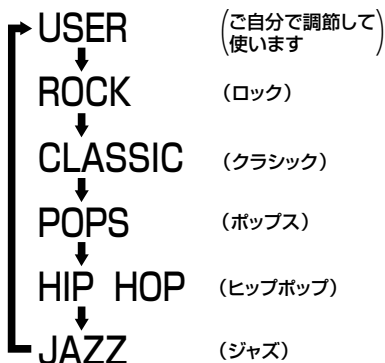


5秒  
以内に



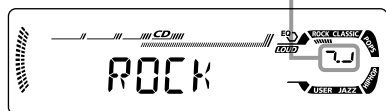
・EQパターンを  
選びます。

EQ(イコライザー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



例:ロックのとき

EQパターン



## 《お知らせ》

- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「オン」に設定されております。
- 別売りのリモコン(RM-RK41J)で操作する(KD-S520のみ)



SOUNDボタンを押すと、EQパターンが上記の順にダイレクトに選べます。

## EQのメモリー内容を変える

EQの各パターンは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

## 1 ソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはCDから選びます。



MODE



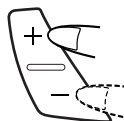
を押したあと5秒以内に  
でいずれかのEQパターンを  
選ぶ

・USER~JAZZのいずれかが選べます。

## 3 [SEL] を押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

・現在のレベルが表示されます。  
・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、「LOUD」を選びます。

## 4 [+/-] で音質を調節する










・手順3と4をくり返して「BAS」と「TRE」を調節し、「LOUD」のオン/オフを選びます(→22ページ参照)。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルは自動的にメモリーされます。

# 故障かな？と思う前に

—おや？故障かな？と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットの操作をする。</li> </ul> <p><b>操作のしかた</b></p> <p> を押したまま  を同時に2秒以上押す</p> <p> </p> <p>・同時に2秒以上押す。</p> <p>↓</p> <p>いったん電源が切れてマイコンがリセットされます。</p> <p><small>（本機にCDが入っていると、CDが出てきますので、落とさないようご注意ください。また、時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げ時の設定状態に戻ります）</small></p>
<p>電源を切っても「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  (電源) / ATT ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで(1秒以上)押す。</li> </ul>
<p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと) 時計は表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  電源(ACCライン) コード(赤)が接続されていないため。</li> <li>● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため (⇒12ページ参照)。</li> </ul>
<p>CDの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盗難防止状態になっている。 →CDボタンを押したまま  (CD取出し) ボタンを同時に2秒以上押す (⇒19ページ参照)。</li> </ul>
<p>CDを入れても音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量を適度に調節する。</li> <li>● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1～2時間待つ。</li> </ul>
<p>CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスクのスキップ演奏ができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。</li> </ul>



症 状	原 因 ・ 処 置
演奏が始まらずに「PLAY --」のままではばらくするとCDが出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。</li> </ul>
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CD-R/CD-RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 →ラベルなどを張ったディスクは使用しない(→7ページ参照)。</li> </ul>
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。</li> <li>● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源コード(青)」を正しく接続する。</li> <li>● 放送局の周波数に正しく合わせる。</li> <li>● 携帯電話などを本機から離す。</li> </ul>
CDの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDの出し入れ動作のときは、音声にミュートンゲをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。</li> </ul>

## こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDが入っていないときCDボタンを押したため。 →CDを入れる。</li> </ul>

### 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

24～25ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング  
周 波 数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：96dB
- S N 比：98dB

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実 用 感 度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実 用 感 度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)  
リア 45W+45W  
(4 $\Omega$ , 1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ～8 $\Omega$ で使用可能)
- 出力端子：LINE OUT(1系統、REAR)、2.0V/1k $\Omega$

## 電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース専用
- 取 付 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外 形 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行168mm
- 質 量：約1.2kg(付属品含まず)

## 付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター) ..... 1
- ・ネジ(M5 × 8 mm) ..... 4
- ・皿ネジ(M5 × 8 mm) ..... 4

## 別売りのオプション品

- ・リ モ コ ン：RM-RK41J  
(KD-S520用)
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。  
(品番は変更されることがあります)

# お手入れ

## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

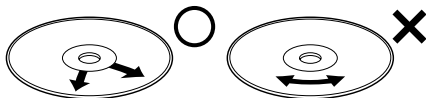
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

## CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側に  
ふく。

連続したキズは音飛  
びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」を  
ご覧ください。

**F** 0120-977-846 (フリーコール)  
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、26ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.victor.co.jp/>  
カーAVホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

## 日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12